

引用文献・図表出典

引用文献

【日本語（五十音順）】

- 青木政幸 2013「和同開珎銭范の側面調整―辰馬考古資料館所蔵品の観察から―」『出土銭貨』33、31-40 頁
- 網伸也 1996「和鏡鑄型の復元的考察―左京八条三坊三町・六町出土例を中心に―」『京都市埋蔵文化財研究所研究紀要』3、55-70 頁
- 諫早直人・鈴木勉 2015「古墳時代の初期金銅製品生産―福岡県月岡古墳出土品を素材として―」『古文化談叢』73、149-209 頁
- 石谷慎 2016「曾国青銅器の製作工人群とその系譜」『中国考古学』16、221-245 頁
- 石谷慎 2018「和同開珎鑄型の紹介―鑄造技術の比較検討を兼ねて―」『古代銭の実像―和同から乾元まで―』121-127 頁、黒川古文化研究所、西宮
- 市元壘・輪田慧 2012「X線CTスキャナによる川原寺裏山遺跡出土塑像の基礎調査」『飛鳥・川原寺裏山遺跡と東アジア―資料集』139-152 頁、関西大学文学部考古学研究室国際シンポジウム実行委員会、吹田
- 犬木努 1995「下総型埴輪基礎考―埴輪同工品論序説―」『埴輪研究会誌』1、1-36 頁
- 犬木努 1996「埴輪製作における個体内・工程別分業と種類別分業―千葉県小見川町城山1号墳出土埴輪の再検討―」『埴輪研究会誌』2、1-30 頁
- 岩永省三 1994「蟹満寺本尊・薬師寺金堂本尊を巡る諸問題」『古文化談叢』32、113-142 頁
- 上田恒夫 2002「ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵畫論：ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(1)「序文」と「基本理念と方法」」『金沢美術工芸大学紀要』46、13-56 頁
- 上田恒夫 2003「ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵畫論―歴史的・批判的研究―ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(2) 第一章ボルゲーゼ美術館（序論からジローラモ・ジェンガまで）」『金沢美術工芸大学紀要』47、1-31 頁
- 植松暁彦 2021「東北地方の鍛冶遺跡と砥石からみた地域相」『アジア文化史研究』20、1-22 頁
- 梅原末治 1931「所謂秦銅器に就いて」『史学』10-3、69-96 頁
- 梅原末治 1936『戦国式銅器の研究』東方文化学院京都研究所、京都
- 江村治樹 1986「戦国三晋の都市の性格」『名古屋大学文学部研究論集 史学』32、33-63 頁（のちに江村 2000 に所収）
- 江村治樹 1988「青銅礼器から見た春秋時代の社会変動」『名古屋大学文学部研究論集 史学』34、55-98 頁（のちに江村 2000 に所収）
- 江村治樹 2000『春秋戦国秦漢時代出土文字資料の研究』汲古書店、東京
- 王紅星（小澤正人 訳）2007a「棗陽九連墩楚墓の主要収獲と荊州楚墓との相違」『早稲田大学長江流域文化研究所年報』5、22-42 頁
- 大澤正巳・鈴木瑞穂 2012「川戸台遺跡出土製鉄・鑄造（鉄・銅）関連遺物の分析調査」『川戸台遺跡』261-314 頁、古河市教育委員会、古河
- 小澤正人 1989「東周副葬礼器の表すもの―湖北省西・北部を例に―」『古代』88、177-194 頁
- 柏井久深子 1999『包丁と砥石』柴田書店、東京
- 春日市教育委員会 2017『須玖タカウタ遺跡3』春日
- 加山延太郎 1985『鑄物のおはなし』日本規格協会、東京
- 神崎勝 2006『冶金考古学概論』雄山閣、東京
- 國下多美樹 2005「古代都城砥石考」『龍谷大学考古学論集』I、205-221 頁、龍谷大学考古学論集刊行会、京都
- 久保智康 1999『中世・近世の鏡』至文堂、東京
- 小池伸彦 2008『古代冶金工房の基礎的構造に関する考古学的研究 平成16～19年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書』奈良文化財研究所、奈良
- 小池伸彦 2011「古代冶金工房と鉄・鉄器生産」『第14回古代官衙・集落研究会報告書 官衙・集落と鉄』11-25 頁、奈良文化財研究所、奈良

佐藤武敏 1962『中国古代工業史の研究』吉川弘文館、東京

佐原康夫 1984「戦国時代の府・庫について」『東洋史研究』43-1、31-59 頁

JFE テクノリサーチ株式会社分析・評価事業部 埋蔵文化財調査研究室 2010「笛吹市一宮畑総末木地区金属分析調査」『石動遺跡・北中原遺跡・車地蔵遺跡・中新居遺跡』227-242 頁、笛吹市教育委員会、笛吹

清水邦彦 2017「弥生時代鑄造技術と工人集団-近畿地域出土送風管の検討を中心に-」『日本考古学』44、27-45 頁

下田誠 2004「鄭韓故城出土銅兵器の基礎的考察」『学習院大学人文科学論集』13、73-104 頁（のちに下田 2008 に所収）

下田誠 2008『中国古代国家の形成と青銅兵器』汲古書院、東京

鈴木茂 1999「白水遺跡出土植物遺体の植物珪酸体」『白水遺跡 第4次 埋蔵文化財発掘調査報告書』64-65 頁、神戸市教育委員会文化財課、神戸

鈴木勉 2016『三角縁神獣鏡・同范（型）鏡論の向こうに』雄山閣、東京

鈴木瑞穂 2024「鍛冶関連遺物の理科学的分析結果からみた古代の鉄の流通と鉄器生産」『平城京左京三条一坊一・二・八坪発掘調査報告』198-208 頁、奈良文化財研究所、奈良

清野孝之・金田明大・内田和伸・渡辺丈彦・川越俊一・豊島直博 2001「西隆寺の調査—第320・324次—」『奈良文化財研究所紀要2001』136-144 頁

蘇栄誉（大平理紗・丹羽崇史 訳）2020「商周青銅鑄造土製范・原型をめぐる七つの問題」『対照実験を主軸とした東アジア鑄造技術史解明のための実験考古学的研究 2016～2019年度（平成28年度～令和元年度）科学研究費助成事業（若手研究（A））研究成果報告書』40-59 頁、奈良文化財研究所、奈良

大工道具研究会 2020『日本の刃物 研ぎの技法』誠文堂新光社、東京

田尻義了 2001「弥生時代青銅器生産における生産体制論—北部九州出土の鑄型資料の分析から—」『九州考古学』76、11-33 頁

高島豊 2014『包丁と砥石大全』誠文堂新光社、東京

高橋直樹・大木淳一 2015『石ころ博士入門』全国農村教育協会、東京

武末純一 2020「弥生時代日韓交渉を巡るいくつかの問題—総論に代えて—」『新・日韓交渉の考古学—弥生時代—（最終報告書 論考編）』3-31 頁、「新・日韓交渉の考古学—弥生時代—」研究会・「新・韓日交渉の考古学—青銅器～原三国時代—」研究会、福岡

玉田芳英 2002「古代の土師器生産」『考古学研究会例会シンポジウム記録3 三世紀のクニグニ・古代の生産と工房』、175-196 頁、考古学研究会、岡山

張昌平（大平理紗・丹羽崇史 訳）2020「中国青銅器研究における実験考古」『対照実験を主軸とした東アジア鑄造技術史解明のための実験考古学的研究 2016～2019年度（平成28年度～令和元年度）科学研究費助成事業（若手研究（A））研究成果報告書』60-71 頁、奈良文化財研究所、奈良

土屋みづほ 2010「砥石からみた弥生時代の社会変化」『遠古登攀 遠山昭登君追悼考古学論集』、401-423 頁、『遠古登攀』刊行会、西宮

中山誠二 2010「北中原遺跡出土の鑄型に混入された植物遺体について」『石動遺跡・北中原遺跡・車地蔵遺跡・中新居遺跡』243-246 頁、笛吹市教育委員会、笛吹

奈良県立橿原考古学研究所・中国社会科学院考古研究所・山東省文物考古研究所（編）2009『鏡範—漢式鏡の製作技術—』八木書店、東京

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 2009『銅鐸—弥生時代の青銅器生産—』橿原

奈良国立文化財研究所 1980『平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報』奈良

奈良国立文化財研究所 1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』奈良

奈良国立文化財研究所 1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』奈良

奈良国立文化財研究所 1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告：長屋王邸・藤原麻呂邸の調査』奈良

奈良国立文化財研究所 1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』奈良

奈良国立文化財研究所 2001『西隆寺跡発掘調査報告書』奈良

奈良文化財研究所 2004『川原寺寺域北限の調査』奈良

奈良文化財研究所 2024『平城京左京三条一坊一・二・八坪発掘調査報告』奈良

奈良文化財研究所飛鳥資料館 1999『鏡を作る 海獣葡萄鏡を中心として』明日香

奈良文化財研究所飛鳥資料館 2010『東アジア金属工芸史の研究 12 平吉遺跡出土鑄造関連遺物の調査・奈良市出土鏡の調査』明日香

奈良文化財研究所飛鳥資料館 2011a『東アジア金属工芸史の研究 13 飛鳥の冶金関連遺跡』明日香

奈良文化財研究所飛鳥資料館 2011b『鑄造技術の考古学—東アジアにひろがる鑄物師のわざ—』明日香

奈良文化財研究所飛鳥資料館 2012『東アジア金属工芸史の研究 14 奈良県橿原市内膳北八木遺跡・大阪府堺市太井遺跡出土冶金関連遺物の調査』奈良

奈良文化財研究所飛鳥資料館 2014『いにしへの匠たち—ものづくりからみた飛鳥時代—』明日香

難波純子 1996「殷墟後半期の青銅彝器（下）」『泉屋博古館紀要』12、93-113 頁

難波洋三 1991「同範銅鐸 2 例」『辰馬考古資料館考古学研究紀要』2、57-109 頁

難波洋三 1998「銅鐸の調査と工房復元」『奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター埋蔵文化財発掘技術者特別研修生産遺跡調査課程』42-65 頁、奈良国立文化財研究所、奈良

難波洋三 2009「銅鐸の鑄造」『銅鐸—弥生時代の青銅器生産—』80-87 頁、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、橿原

西村俊範 1983「中山王墓出土銅器の鑄造関係銘文」『展望アジアの考古学 樋口隆康教授退官記念論集』536-548 頁、新潮社、東京

西江清高 1990「「中国」的文化領域の原型と「地域」文化」『文化人類学』8、135-145 頁

丹羽崇史 2006「春秋戦国時代華中地域における青銅器生産体制復元のための基礎的検討—青銅鼎の製作技術の分析から—」『中国考古学』6、165-186 頁

丹羽崇史 2007a「春秋戦国時代における青銅器製作技術の比較研究—生産体制と流通形態を視野に入れて—」『高梨学術奨励基金年報（平成 18 年度）』118-123 頁

丹羽崇史 2008a「製作技術からみた戦国時代江漢地域出土青銅鼎—包山 2 号墓・天星觀 2 号墓・望山 1、2 号墓出土青銅鼎の検討—」『九州と東アジアの考古学 九州大学考古学研究室五十周年記念論文集』859-878 頁、九州大学考古学研究室五十周年記念論文集刊行会、福岡

丹羽崇史 2008b「春秋戦国時代における青銅器生産遺跡の研究—侯馬鑄造遺跡を中心として—」『高梨学術奨励基金年報（平成 19 年度）』141-145 頁

丹羽崇史 2012「奈良時代における湾曲羽口の再検討」『文化財論叢Ⅳ 奈良文化財研究所創立 60 周年記念論文集』503-521 頁、奈良文化財研究所、奈良

丹羽崇史 2015「X線CT調査と中国青銅器製作技術研究」『三次元デジタル計測技術を活用した中国古代青銅器の製作技法の研究』461-469 頁、泉屋博古館・九州国立博物館、京都・福岡

丹羽崇史 2016a「黄河・長江流域の青銅器生産技術」『季刊考古学』135、64-66 頁

丹羽崇史 2016b「殷周～秦漢時代における羽口の展開」『鉄の技術と歴史フォーラム 第 172 回講演大会秋季シンポジウム論文集』、18-27 頁、日本鉄鋼協会、東京

丹羽崇史 2018「書評 鈴木舞著『殷代青銅器の生産体制：青銅器と銘文の製作からみる工房分業』」『東洋史研究』77-2、94-107 頁

丹羽崇史 2019「銘文からみた春秋戦国時代華中地域における青銅器生産—「作器者」銘の分析を中心に—」『東洋文化』99、103-122 頁

丹羽崇史（編）2020『対照実験を主軸とした東アジア鑄造技術史解明のための実験考古学的研究 2016～2019 年度（平成 28 年度～令和元年度）科学研究費助成事業（若手研究（A））研究成果報告書』奈良文化財研究所、奈良

丹羽崇史 2021a「侯馬鑄銅遺跡における溶解炉の検討」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』14、48-50 頁【本書Ⅰ－2】

丹羽崇史 2021b「東アジアにおける「北方系」湾曲羽口の展開」『中国考古学』21、91-102 頁【本書Ⅰ－1】

丹羽崇史 2021c「製作技術からみた九連墩墓地出土青銅鼎—「同模品」と製作痕跡の分析による戦国時代青銅器生産体制・供給形態の検討—」『持続する志—岩永省三先生退職記念論文集』577-595 頁【本書Ⅱ－1】

丹羽崇史 2022a「日本古代の土製鑄型についての基礎的検討」『奈良文化財研究所紀要 2022』16-17 頁【本書Ⅰ－3】

丹羽崇史 2022b「二里头時代から漢代における土製鑄型の基本構造の変遷」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』15、24-26 頁【本書Ⅰ－4】

丹羽崇史 2023「奈良三彩の成立過程に関する学史的検討と若干の考察」『文化財論叢Ⅴ 奈良文化財研究所創立 70 周年記念論文集』395-414 頁、奈良文化財研究所、奈良

- 丹羽崇史・廣川守・新郷英弘・樋口陽介・八木孝弘 2015「中国青銅器の製作技法解明のための対照実験（3）」『アジア
鑄造技術史学会研究発表概要集』9、6-8頁（のちに丹羽（編）2020 に所収）
- 丹羽崇史・三船温尚・石谷慎 2018「天理参考館所蔵「鑄客」炉の研究（3）－施紋技法の検討－」『FUSUS』10、37-47
頁
- 丹羽崇史・三船温尚・太田三喜・劉治國・石谷慎 2016「天理参考館蔵「鑄客」炉の研究（2）－器身・足部・鎖の製作技
法に関する調査－」『FUSUS』8、31-42 頁
- 丹羽崇史・村田泰輔 2023「鑄造関連民具の考古学・文化財科学的調査」『日本文化財科学会第40回記念大会 研究発表
要旨集』106-107 頁【本書Ⅰ-6】
- 丹羽崇史・山本晃平・濱崎範子 2016「古墳時代中・後期近畿地方における冶金生産に関する基礎的研究－冶金関連遺物・
遺構の集成から－」『古代学研究』208、30-35 頁
- 林巳奈夫 1984『殷周時代青銅器の研究 殷周青銅器総覧 一』吉川弘文館、東京
- 林巳奈夫 1989『春秋戦国時代青銅器の研究 殷周青銅器総覧 三』吉川弘文館、東京
- 廣川守 2005「侯馬出土鏡範と前5世紀の青銅鏡」『鏡範研究』Ⅲ、1-15 頁、奈良県立橿原考古学研究所・二上古代鑄金
研究会
- 藤根久・古橋美智子 1999「梵鐘鑄型等の材料分析」『白水遺跡 第4次 埋蔵文化財発掘調査報告書』53-62 頁、神戸市教
育委員会文化財課、神戸
- 松村恵司 1989「鑄造関連遺物と工房の性格」『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』179-185 頁、奈良国立文
化財研究所、奈良
- 松村恵司 2003「富本銭鑄銭技術の復原」『わが国鑄銭技術の史的検討』12-36 頁、奈良文化財研究所、奈良
- 松村恵司・小泉武寛 2011「和同開珎銅銭の復元鑄造実験」『古代銭貨の復元鑄造実験』1297-1326 頁、奈良文化財研究所、
奈良
- 真鍋成史 2003「鍛冶関連遺物」『考古資料大観 第7巻 弥生古墳時代 鉄・金銅製品』274-280 頁、小学館、東京
- 真鍋成史 2010「古墳時代における鉄器生産研究の現状」『日向における古代以前の鉄器生産』頁不明、ユーラシア冶金
史研究会、宮崎
- 水野清一 1942「赤峰金石期文化のふいごの口」『人類学雑誌』658、1-2 頁
- 三船温尚 2021「蠟と青銅の技 蠟型鑄造 須賀松園工房の聞き取り記録」『鑄物モダン 花を彩る銅のうつわ』105-217 頁、
泉屋博古館・富山大学芸術文化学部、京都・高岡
- 宮本一夫 1985「七国武器考－戈・戟・矛を中心として－」『古史春秋』2、75-109 頁
- 宮本一夫（編）2015『遼東半島上馬石貝塚の研究』九州大学出版会、福岡
- 三好裕太郎 2020「X・布留遺跡の刀剣装具生産について」『由良大和古代文化研究協会研究紀要』24、124-130 頁
- 村上英之助 1970「ふいごと羽口の系統序説」『日本製鉄史論』9-45 頁、たたら研究会
- 村上恭通 2006「日本・中国における青銅器生産技術の接点－送風管を中心に－」『人文学論叢』8、189-198 頁
- 村上恭通 2008「弥生時代の青銅熔解技術」『第9回愛媛大学考古学研究室公開シンポジウム 弥生・冶金・祭祀』1-12 頁、
愛媛大学法文学部考古学研究室、松山
- 村上恭通 2020「東アジアに向けた青銅器の生産技術・文化の伝播」『한국 청동기 제작기술 전통의 새로운 이해』133-
151 頁、国立清州博物館・韓国鑄造技術史学会、清州
- 村田裕一 1997「銅剣を研ぐ－荒神谷銅剣の模鑄品による研磨実験－」『古代文化研究』5、1-16 頁
- 村田裕一 2002「工具一砥石」『弥生・古墳時代 石器・石製品・骨角器 考古資料大観9』197-200 頁、小学館、東京
- 村松貞次郎 1973『大工道具の歴史』岩波書店、東京
- 森貴教 2020「近畿弥生社会における鉄器化とその意義－砥石分析による再検討－」『古代文化』71-4、21-36 頁
- 森貴教 2023「交野市森遺跡出土砥石の検討」『交野の王墓と鉄器生産 交野市立教育文化会館展示図録Ⅰ』113-117 頁、
交野市教育委員会、交野
- 森貴教 2024「砥石組成からみた布留遺跡の手工業生産」『布留遺跡の考古学－物部氏隆盛の地－』343-348 頁、六一書房、
東京
- 森貴教・月山陽介・新田勇 2021「砥石表面解析の方法と評価－考古資料を対象として－」『環日本海研究年報』26、1
-12 頁

- 森貴教・丹羽崇史 2021「古代都城における生産遺跡出土砥石の基礎的検討—平城京の銅遺跡出土品を対象として—」『奈良文化財研究所紀要 2021』16-17 頁
- 山内紀嗣 2010『奈良県天理市 布留遺跡趾之内（樋ノ下・ドウドウ）地区発掘調査報告書 遺構編 1980・1988～1989年調査』埋蔵文化財天理教調査団、天理
- 山内紀嗣 2012『奈良県天理市 布留遺跡趾之内（樋ノ下・ドウドウ）地区発掘調査報告書 遺物編 1980・1986～1987年調査』埋蔵文化財天理教調査団、天理
- 山崎信二 2003「平城宮・京と同範の軒瓦および平城宮式軒瓦に関する基礎的考察」『古代瓦と横穴式石室の研究』79-134 頁、同成社、東京
- 山本堯 2018「流動する葬器—春秋時代における生産・流通・権力—」『泉屋博古館紀要』34、67-107 頁
- 山本堯 2021「遼西における侯馬系青銅葬器の出現と背景」『中国考古学論叢—古代東アジア社会への多角的アプローチ』185-214 頁、同成社
- 吉開将人 1994「曾侯乙墓出土戈・戟の研究—戦国前期の武器生産をめぐる一試論—」『東京大学文学部考古学研究室紀要』12、1-49 頁
- 吉開将人 2008「中国古代における生産と流通—青銅製品を中心に—」『現代の考古学 4 生産と技術の考古学』95-112 頁、朝倉書店、東京
- ロータール・フォン・ファルケンハウゼン（吉本道雅 訳）2006『周代中国の社会考古学』京都大学学術出版会、京都
- 【中国語（ピンイン順）】**
- 辺成修 1972「山西長治分水嶺 126 号墓発掘簡報」『文物』1972-4、38-44 頁
- 丹羽崇史 2007b「春秋戦国時代華中地区的青銅器生産体制の基礎研究—従各地区青銅器の製造技術谈起—」『楚文化研究論集』7、278-288 頁、岳麓書社、長沙
- 丹羽崇史（近藤晴香 訳）2009「從製作技術看戦国時代江漢地区出土青銅鼎—論包山 2 号墓・天星觀 2 号墓・望山 1、2 号墓出土青銅鼎—」『三代考古』3、378-400 頁、科学出版社、北京
- 董逸岩・史倩羽 2022「趙卿墓聯襱列鼎足部鋸齒口鑄造工藝—兼及同類鼎的分析与研究—」『山西博物院青銅器 CT 掃描分析研究報告』123-150 頁、科学出版社、北京
- 荀歆・丁忠明 2022「趙卿墓出土觚壺の鑄造工藝研究」『山西博物院青銅器 CT 掃描分析研究報告』72-122 頁、科学出版社、北京
- 郭宝鈞 1981『商周銅器群総合研究』文物出版社、北京
- 郝本性 1972「新鄭“鄭韓故城”發現一批戦国銅兵器」『文物』1972-10、32-40 頁
- 河南省博物館・石景山鋼鐵公司煉鉄厂・『中国冶金史』編写組 1978「河南漢代冶鉄技術初探」『考古学報』1978- 1、1-24
- 湖北省博物館（編）2007『九連墩—長江中游の楚国貴族大墓—』文物出版社、北京
- 湖北省文物考古研究所 2003「湖北棗陽市九連墩楚墓」『考古』2003- 7、10-14 頁
- 湖北省文物考古研究所・襄陽市文物考古研究所・棗陽市文物考古研究所 2018「湖北棗陽九連墩M 2 發掘簡報」『江漢考古』2018- 6、3-55
- 湖北省文物考古研究所・襄陽市文物考古研究所・棗陽市文物考古研究所 2019「湖北棗陽九連墩M 1 發掘簡報」『江漢考古』2019- 3、20-70 頁
- 胡嘉麟 2014「渾源彝器 晋地遺風 記上海博物館藏李峪村出土青銅器」『芸術品』2014- 6、8-15 頁
- 胡雅麗 2007「九連墩 1、2 号墓綜述」『九連墩—長江中游の楚国貴族大墓—』18-23 頁、文物出版社、北京
- 黄盛璋 1974「試論三晋兵器的国別和年代及其相關問題」『考古学報』1974-1、13-44 頁
- 李京華 1994「從戦国銅器鑄範銘文探討韓国冶鑄業管理機構与職官」『中原古代冶金技術研究』153-157 頁、中州古籍出版社、鄭州
- 李京華・陳長山 1995『南陽漢代冶鉄』中州古籍出版社、鄭州
- 李夏廷 1992「渾源彝器研究」『文物』1992-10、61-75 頁
- 李夏廷・李建生 2012「也談長治分水嶺東周墓地」『中国国家博物館館刊』2012- 3、15-31 頁
- 李延祥・韓汝玢・宝文博・陳鉄梅 1999「牛河梁冶銅炉壁殘片研究」『文物』1999 - 12、44-51 頁
- 李延祥・陳建立・朱延平 2006「西拉沐倫上游地区 2005 年度古鈹冶遺址考察報告」『中国冶金史論文集』4、335-346 頁、

科学出版社、北京

李衆 1975 「中国封建社会前期鋼鉄冶煉技術發展的探討」『考古學報』1975-2、1-22 頁

廉海萍 2009 「渾源犧尊鑄造技術考察及相關技術的討論」『鹿鳴集：李濟先生發掘西陰遺址八十周年・山西省考古研究所侯馬工作站五十周年紀念文集』305-318 頁、科学出版社、北京

廉海萍 2020 「漢代鑄錢挾砂陶背范的分析研究」『文物保護與考古科學』32-6、61-70 頁

遼寧省博物館 1985 「遼寧凌源縣三官甸青銅短劍墓」『考古』1985-2、125-130 頁

遼寧省博物館文物工作隊 1983 「遼寧林西縣大井古銅鉞 1976 年試掘簡報」『文物資料叢刊』7、138-146 頁

劉彬徽 1995 『楚系青銅器研究』湖北教育出版社、漢口

劉煜 2018 『殷墟出土青銅禮器鑄造工藝研究』廣東人民出版社、廣州

南普恒・賈堯・高振華・羅武干 2021 「分水嶺東周墓地銅器材質、工藝及鉞料特征的再認識」『南方文物』2021-3、191-199 頁

內蒙古自治區文物考古研究所・寧城縣遼中京博物館（編）2009 『小黒石溝 - 夏家店上層文化遺址發掘報告』科学出版社、北京

秦穎・姚政權・魏國鋒・胡雅麗・王昌燧 2008 「利用植硅石示踪九連墩戰國楚墓出土青銅器產地」『中国科學技術大學學報』38-3、326-330 頁

山西博物院 2019 『山西博物院藏品概覽・青銅器卷』文物出版社、北京

山西省考古研究所 1993 『侯馬鑄造遺址（上）（下）』文物出版社、北京

山西省考古研究所 1994a 『上馬墓地』文物出版社、北京

山西省考古研究所 1994b 「聞喜縣上郭村 1989 年發掘簡報」『三晉考古』1、139-153 頁・318-319 頁、山西人民出版社、太原

山西省考古研究所 2012 『侯馬白店鑄造遺址』文物出版社、北京

山西省考古研究所・曲沃縣文物局 2009 「山西曲沃羊舌晉侯墓地發掘簡報」『文物』2009-1、4-14 頁・26 頁

山西省考古研究所・山西博物院・長治市博物館 2010 『長治分水嶺東周墓地』文物出版社、北京

山西省考古研究所・太原市文物管理委員會 1996 『太原晉國趙卿墓』文物出版社、北京

山西省考古研究所侯馬工作站 1988 「山西侯馬上馬墓地 3 號車馬坑發掘簡報」『文物』1988-3、35-49 頁

山西省考古研究院・臨汾市文化和旅游局・洪洞縣文物旅遊中心 2021 「山西洪洞南秦墓地春秋墓葬 M6 發掘簡報」『中国国家博物館館刊』2021-6、5-60 頁

山西省考古研究院・山西博物院・臨汾市博物館・襄汾縣文化和旅游局 2021 『山右吉金—襄汾陶寺北兩周墓地出土青銅器精粹』山西人民出版社、太原

山西省文物工作委員會晉東南工作組・山西省長治市博物館 1974 「長治分水嶺 269、270 號東周墓」『考古學報』1974-2、63-85 頁

山西省文物管理委員會 1957 「山西長治市分水嶺古墓的清理」『考古學報』1957-1、103-118 頁

山西省文物管理委員會・山西省考古研究所 1964 「山西長治分水嶺戰國墓第二次發掘」『考古』1964-3、111-137 頁

山西省文物管理委員會侯馬工作站 1963 「山西侯馬上馬村東周墓葬」『考古』1963-5、229-245 頁

蘇榮譽 2016 「論三足鋸齒形鑄接青銅鼎—兼論聯襠鼎和侯馬鑄銅作坊生產諸題一」『高明先生九秩華誕慶壽論文集』152-187 頁、科学出版社、北京

蘇榮譽 2019a 「侯馬鑄銅遺址與鑄鼎—兼論鑄鼎技術的鼎革與侯馬鑄銅作坊一」『中国科学院文化遺產科技認知研究中心集刊』1、139-171 頁、時代出版傳媒股份有限公司・安徽科學技術出版社、合肥

蘇榮譽 2019b 「侯馬鑄銅遺址與晉國鑄銅業」『中国青銅技術與藝術 丁酉集』317-338 頁、上海古籍出版社、上海

蘇榮譽・華覺明・李克敏・盧本珊 1995 『中国上古金属技術』山東科學技術出版、濟南

蘇榮譽・蘆連成・胡智生・陳玉雲・陳依慰 1988 「寶鷄強國墓地青銅器鑄造工藝考察及金属文物檢測」『寶鷄強國墓地』530-638 頁、文物出版社、北京

譚德睿 1999 「中国青銅時代陶范技術研究」『考古學報』1999-2、211-250 頁

陶正剛 1996 「太原晉國趙卿墓青銅器工藝與藝術特色」『太原晉國趙卿墓』295-302 頁、文物出版社、北京

吐魯番市文物局・新疆文物考古研究所・吐魯番學研究院・吐魯番博物館 2019 『新疆洋海墓地』文物出版社、北京

萬家保 1975 「輝縣及汲縣出土東周時期青銅鼎形器的鑄造及合金研究」『大陸雜誌』50-6、253-277 頁

- 王紅星 2005 「九連墩 1、2 号楚墓的年代与墓主身分」『楚文化研究論集』6、430-438 頁
- 王紅星 2007b 「九連墩一、二号墓用鼎制度研究」『楚文化研究論集』7、468-475 頁、岳麓書社、長沙
- 王金玉・陳誼・蘇榮譽（武笑迎 訳）2021 「大英博物館館藏侯馬青銅器：技術研究」『東方考古』18、208-223 頁、科学出版社、北京
- 魏国鋒・秦穎・姚政權・王昌燧・胡雅麗・黃鳳春 2011 「利用泥芯示踪九連墩楚墓青銅器的產地」『岩石鈣物學雜誌』30、701-715 頁
- 吳坤儀 1996 「太原晋国趙卿墓青銅器製作技術」『太原晋国趙卿墓』269-275 頁、文物出版社、北京
- 西安文物保護修復中心 2004 『漢鐘官鑄錢遺址』科学出版社、北京
- 新疆文物考古研究所 2016 「新疆庫車庫俄鐵路沿線考古發掘簡報」『西部考古』10、29-50 頁
- 新疆文物考古研究所・吐魯番市文物局 2004 「鄯善縣洋海二号墓地發掘簡報」『新疆文物』2004-1、28-49 頁
- 徐勁松・董亜巍・李桃元 2001 「盤龍城出土大口陶缸的性質及用途」（湖北省文物考古研究所編）『盤龍城 一九六三年—一九九四年考古發掘報告書』599-607 頁、文物出版社、北京
- 楊寬 2003 『中国断代史系列 戰国史』上海人民出版社、上海（初版は 1955）
- 愈偉超・高明 1978-9 「周代用鼎制度研究（上）（中）（下）」『北京大学學報 社会科学版』1978-1、84-98 頁・1978-2、84-97 頁・1979-1、83-96 頁
- 袁艷玲 2019 『楚系青銅禮器的生產与流通』科学出版社、北京
- 岳占偉・荆志淳・劉煜・岳洪彬・James B. Stoltman・Jonathan Mark Kenoyer 2015 「殷墟陶范、陶模、泥芯的材料来源与处理」『南方文物』2015-4、152-159 頁
- 翟少冬・朱雪峰・徐宏傑・岳占偉・何毓靈 2020 「浅谈殷墟青銅器的鑄后打磨工艺」『江漢考古』2020- 5、98 - 109 頁
- 張昌平 2009 『曾國青銅器研究』文物出版社、北京
- 趙瑞民・韓炳華 2005 『晋系青銅器研究—類型學與文化因素分析—』山西人民出版社、太原
- 周文麗・陳建立・雷興山・徐天進・種建榮・王占奎 2011 「周原遺址李家鑄銅作坊出土冶鑄遺物分析」『商周青銅器的陶範鑄造技術研究』192-235 頁、文物出版社、北京

【韓国語（カナダ順）】

- 國立光州博物館 2014 『光州新昌洞遺蹟 -H5grid(546 반지 일원) 를 중심으로 -』國立光州博物館、光州
- 財団法人全州文化遺産研究院 2014 『전주・완주 혁신도시 개발사업 (Ⅱ구역) 부지 내 문화유적 발굴조사 전주정문 동・중동・만성동유적 전주안심・암멸유적』財団法人全州文化遺産研究院、全州
- 財団法人湖南文化財研究院 2008 『全州 西部新市街地 都市開發事業文化遺産 發掘調査 報告書（Ⅲ）全州 馬田遺蹟（Ⅰ・Ⅱ區域）』財団法人湖南文化財研究院□全州市、全州

【英語（アルファベット順）】

- Bagley, Robert W. 1995, What the Bronzes from Hunyuan Tell Us about the Foundry at Houma. Orientations 26-1, pp. 46-54.
- Falkenhausen, Lothar von. 2003, The Bronzes from Xiasi and Their Owners. 北京大学考古文博学院（編）. 考古学研究 5 科学出版社, pp. 755-786.

図表出典

【Ⅰ-1】

- 図 1 丹羽 2016a に加筆・改変
- 図 2・10・11・表 1 筆者作成
- 図 3 水野 1942 に加筆し転載
- 図 4 3・4 の画像は筆者撮影（京都大学総合博物館）、それ以外の図・画像は表 1 記載の出典より転載
- 図 5 7 の図・画像は筆者実測・撮影（國立全州博物館）、それ以外の図・画像は表 1 記載の出典より転載
- 図 6 11 の画像は筆者撮影（山西青銅博物館）、それ以外の図は表 1 記載の出典より転載
- 図 7 画像は筆者撮影（山西青銅博物館）、図は山西省考古研究所 1993 より転載
- 図 8 図・画像は表 1 記載の出典より転載
- 図 9 右側の画像は筆者撮影（新疆文物考古研究所）、それ以外の図・画像は新疆文物考古研究所 2016 より転載。

【I - 2】

図1 筆者撮影（山西青銅博物館 2019年10月）

図2 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 2009 51頁に加筆して転載

図3・表1 筆者作成

【I - 3】

図1 久保 1999 を一部改変

図2 網 1996 を一部改変

図3 奈良文化財研究所提供（奈良文化財研究所 2004 掲載画像）

表1 筆者作成

【I - 4】

図1 2019年10月 二里头遺址夏都博物館展示室にて筆者撮影

図2 2009年6月 北京大学塞克勒考古与芸術博物館展示室にて筆者撮影

図3 2011年7月 洛陽博物館展示室にて筆者撮影

図4 2016年7月 和泉市久保惣記念美術館にて筆者撮影

図5 2018年7月 晋国古都博物館展示室にて筆者撮影

図6 2010年1月 河南省文物考古研究所（当時）新鄭工作站にて筆者撮影

図7 廉 2020 に加筆

【I - 5】

図1・2・3 筆者（長柄）撮影

表1 筆者（長柄）作成

【I - 8】

図1・表1：筆者（丹羽）作成

図2 以下の図を再トレース（石田蓮氏）

1・2・3：奈良国立文化財研究所 1989 PL. 29 1・2・3

4・5・6：奈良国立文化財研究所 1984 fig. 30 3・5・6

7・8・9：奈良国立文化財研究所 1997 Pl. 58 4・5・6

10・11：奈良国立文化財研究所 1995 Pl. 228 1・5

12・13・14・15：奈良国立文化財研究所 2001 fig. 21 21・23・24・26

16・17：清野ほか 2001 図 161 6・7

18・19・20：奈良文化財研究所 2024 PL. 65 1・2・4

図3・4・6・表2：筆者（森）作成

図5 図：奈良国立文化財研究所 1984 fig. 30 5、画像：筆者（森）撮影

【II - 1】

図1・9、表1・2 筆者作成

図2 湖北省博物館（編）2007 を改変の上、転載

図3・4 筆者作成（丹羽 2008a を改変）

図5・8 湖北省文物考古研究所ほか 2018、湖北省文物考古研究所ほか 2019 および筆者撮影画像をもとに筆者作成

図6・7 筆者撮影画像・筆者作成図をもとに筆者作成

【II - 2】

図1 丹羽 2021c より引用

図2・4・表1 筆者作成

図3 筆者作成（図は、山西省考古研究所 1994a、山西省考古研究所・山西博物院・長治市博物館 2010、山西省考古研究所・太原市文物管理委員会 1996 より引用、画像は山西博物院にて筆者撮影（2019年10月））